



～2020年 本校は創立120周年を迎えます～

* 地域と共に知恵と勇気を育む * 長野県蓼科高等学校 〒384-2305 長野県北佐久郡立科町大字芦田3652

暖かな日差しの中、令和2年度入学式 挙行

新型コロナウイルス感染症対策のため時間や内容を変更し、令和2年4月7日(火) 令和2年度新入生77名の入学が許可されました。保護者の皆様が見守る中、宮澤和人校長は次のことを話されました。

自分の身体と命を大切にしてほしい

運動部に入ってスポーツで身体を鍛える。帰宅したら短くてもいいので机に向かう。夜更かしをせず良質の睡眠を確保する。朝ごはんをきちんと食べるなど、生活習慣を整え自分の健康と命を意識した生活を送ってください。

蓼科高校で一生懸命学んでほしい

授業の中で先生や仲間のいうことをきちんと聞く姿勢。求められた課題を期日までにしっかりと完成させるプロセス。そういう基本的な姿勢を身に付けてほしいと思います。

あいさつをしっかりとしてほしい

家族、仲間同士、先生だけでなく、来校しているお客さんや通学途上で会う地域の人たちにまで、「おはようございます」「こんにちは」と皆さんから声をかけてほしいのです。みなさんは一人だけでこの世界に存在しているわけではありません。私も時間ができたら、昇降口に立って皆さんとあいさつを交わします。



学校長式辞

宮澤校長は最後に、「教職員一同、精一杯努力をいたす所存ですので、保護者のみなさまにおかれましても、お子さんが力強く未来を切り開いていくためにご理解とご協力を賜りたく存じます。」と話されました。

そのあと、新入生を代表して小西美蘭さんが、これから始まる高校生活に向けて、力強く希望と決意を込めた宣誓を行いました。

宣誓

一年中で一番美しい季節がやってまいりました。今日この良き日に、私たち77名は、九年間の義務教育を終え、長年の伝統を誇る蓼科高等学校に入学することができました。

私たちは、これから始まる高校生活に様々な気持ちを抱えています。新しい仲間に出会い、期待だけでなく不安な気持ちもあります。しかし、この仲間と共に勉学やクラブ活動に励み、高校生活の様々な活動に全力を尽くしてまいります。

また、自らの将来を見つめ、より豊かな人生を送るために基礎力を磨き、毎日健康に過ごすための努力をおこたりません。そして、社会的に必要とされる人材になるために日々精進することを誓います。

令和2年4月7日 新入生代表 小西美蘭



新入生代表の宣誓

蓼高クイズ!

蓼高フォトニュース創刊第100号を記念して蓼科高校に関するクイズを出題します! ハガキで応募して下さった方の中から抽選で5名の方に図書カードプレゼント!

締切: 令和2年6月22日(火) 必着

< 問題 > 蓼科高等学校の初代校長の名前は、保科〇〇である。〇〇の中を正しく埋めてください。

< 応募方法 > ハガキにクイズの答えと住所・氏名・電話番号をお書きのうえ、蓼科高校にお送りください。

宛先: 蓼科高等学校 教務係 クイズ担当

住所: 長野県北佐久郡立科町大字芦田3652

★ 新任職員紹介 ★

保護者・地域の皆様、宜しくお願ひします！



やまがわ しゅんいちろう
山極 俊一郎 (教頭)

20年近く前、地歴公民の会議で初めてこちらへ伺った時もポプラの大木が迎えてくれました。その折、校長先生が「小さな学校の大きな生徒達」と誇らしげに挨拶されていたことを記憶しています。大空に伸びるポプラのように夢や希望の実現に向かい寄り多い高校生活になるよう応援しています。

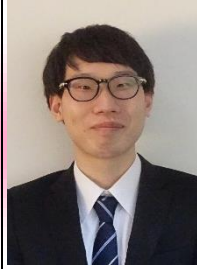


いづか かずゆき
飯塚 和幸 (地歴公民)

佐久地区の学校で教員生活がスタートし、その後、上田地区と佐久地区の学校を行ったり来たりして、本校で7校目です。上田市の自宅から、毎朝、蓼科山を見ながら通勤しています。歴史や世の中の動きについて皆さんが興味を持てるような授業をしたいと思っています。質問があれば遠慮せずしてください。

とや かずま
外谷 一真 (数学)

数学を担当する外谷一真と申します。初めての教員生活で不安もありましたが、明るく話しかけてくれる生徒たちにとっても元気をもらっています。数学の授業では少しでも数学の楽しさを伝えられるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



まつうら ふみや
松浦 文哉 (保健体育)

南信地区の伊那市から来ました。東信地区は、全く知らない地域ですが、景色がきれいで過ごしやすいです。初めての教員生活で不安ではありますが、生徒の皆さんと楽しく授業ができたらと思っています。よろしくお願ひします。



あらい かづみ
新井 克巳 (商業)

お隣の東御市から通っています。見慣れた蓼科山や浅間山など周囲の山並みも違った景色に映り、新鮮な気持ちでいます。桜は見頃を迎えましたがコロナ禍のため未だに授業を始めることができません。一日でも早く皆さんと授業ができることを楽しみにしています。よろしくお願ひします。



おぎはら りえ
荻原 理恵 (英語)

佐久市出身です。幼い頃から「お供え山」と親しんでいた蓼科山のある立科町にご縁があり、嬉しく思っています。特に女神湖が好きです。生徒たちは挨拶がしっかりしていて感動しました。英語の授業を通して生徒たちと充実した日々を過ごしていきたいと思っています。気軽に質問して下さいね。



よしおか めぐみ
吉岡 恵 (事務)

新任職員として紹介されるのはいささか心苦しいのですが、昨年度1年間教職員組合の専従役員として学校を離れておりました。県内各校の環境や学びのあり方に触れる中で、蓼科高校の地域に開かれた教育実践や地域の皆さんの学校への支援があらためて恵まれた環境であることを実感しました。生徒の皆さんにはこの環境を思う存分活用してほしいと思います。



めすだ けんいちろう
召田 憲市郎 (事務長)

まだ、あまり生徒の皆さんと話をする機会がありませんが、声を掛ければちゃんとあいさつしてくれるので、とてもうれしいです。私たち事務職員は、環境整備や事務を通して皆さんがかなえたい夢や目標をしっかり応援したいと思っています。気軽に事務室に寄ってください。



うしろこうじ あきこ
後小路 亜紀子 (事務)

望月高校から転勤してきました。事務室の後小路です。コロナウイルスの感染拡大の影響で学校が休校になり、生徒の皆さんも、保護者の方々も先の見えない状況に不安があると思います。私たち職員も同じ気持ちです。普段、学校で友達と過ごす時間を、外にも出れずストレスを感じることもあると思いますが、この状況が一日でも早く収まり、元気な皆さんに合える日を楽しみにしています。



よこや ゆうこ
横谷 祐子 (事務)

皆さん、こんにちは。これまでいろいろな形でお世話になっておりましたが、今回校用業務員として携わらせていただくことになりました。校舎のすべてが懐かしく、愛しんで業務にあたればと思います。よろしくお願ひいたします。



今回で記念すべき第100号となりました。今後も蓼高フォトニュースをよろしくお願ひいたします。